

平成 19 年度 資源環境経済学講座 定例研究会報告

平成 19 年度資源環境経済学講座定例研究会は、全 8 回行われ、21 名の大学院生が報告した。

	報告者	報告題目
第 1 回 (4 月 26 日)	小山田晋 (D1)	農村環境評価における評価主体の価値観の役割に関する研究
	田中洋子 (D1)	マカッサル農村における灌漑管理の研究
第 2 回 (5 月 24 日)	佐藤文吉 (D1)	明治期後半の村社会における地方商人と繭取引－気仙郡の伊東彌助家を事例に－
	福田竜一 (D2)	農業保護主義が自由貿易協定戦略に与える影響－韓国 FTA 締結構造の分析－
	佐藤章夫 (OD2)	近世農業水利施設の普請と維持管理に関わる藩と村方の関係について－山形五堰を事例として－
第 3 回 (7 月 19 日)	村松優里香 (M1)	タイ現地調査報告 (7/11-18)
	平口嘉典 (D3)	地域産業創出における住民組織と支援主体の役割
	朴相賢 (OD2)	韓国における地域農業環境政策展開の現状と課題－忠南牙山市資源循環型親環境農業クラスターを事例に－
第 4 回 (9 月 27 日)	阿部秀康 (M2)	農協系統における協同会社の現段階と展開方向に関する研究－親組合と協同会社との実質的意思疎通の重要性－
	西橋 俊 (M2)	団地形成による間伐の実現のための必要条件に関する研究
第 5 回 (10 月 25 日)	鈴木秀一 (M2)	農業における情報利用の在り方とそれに向けた条件に関する研究
	菅井健光 (D3)	農業信用補完制度の展開に関する保証理論の検討
第 6 回 (11 月 22 日)	鹿嶋純子 (D2)	中国への農産物輸出の現状
	池田 敦 (M2)	子供の異年齢遊びの視点による地域環境教育の研究
	安部雅人 (OD3)	ベトナムの農村電化における技術移転に関する研究

	報告者	報告題目
第7回 (12月20日)	飯塚聖司 (M1)	地域づくりにおける住民組織の構築に関する研究
	水澤長之 (D2)	市民農園と直売所による地域活性化
	高嶋名世瑠 (M1)	宮城県産りんごの流通チャンネル別購買特性の把握
第8回 (1月24日)	ディッフィ アユ プスピト サリ (M1)	Japanese Beef Traceability System
	佐藤伸寿 (M1)	農村集落経営体の行政アウトソーシング受託による内発的総合産業構築の可能性について
	田口克己 (M1)	地域水田農業の維持を阻害する要因の定量的把握に関する研究